

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ノエル不動産

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)














分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		経営理念と会社の目指すべき姿を従業員に説明し、共有しながら業務を行っている。学ぶ姿勢が重要視され、各人の成長が、「三方よし」の精神に繋がることを実感しており、従業員も大きなやりがいを感じている。								8	9											17				
	2	【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		不動産業は法令遵守が特に重要であり、常に全従業員に向けて発信しており確実に遵守できるよう、業務の流れの中でも指導啓発を行っている。																				16				
	3	【公正な競争】 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		営業秘密の侵害など、不正競争行為に関与しないよう努めており、従業員へも指導している。																					16			
	4	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当役員を代表取締役が行い、事業が社会・環境に及ぼす影響を把握し、対応を従業員へ指示している。																					16			
	5	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許、商標、著作権などの侵害について、業務遂行の中で指導している。								8.2 8.3	9															
	6	【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している。	●		業務の中に於いて啓発し、情報漏洩のなきよう、各自徹底させている。また、規程に沿って個人情報を管理している。																					16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		不動産業はステークホルダーとの対話によって成り立つ事業であり、適切な対応はもちろん、より良い結果になるよう常に提案、対話している。																				16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11		13.1						16	17		
	10	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者育成のセミナー等に参加している。										8	9											17		
	11	【公正な貿易】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2					5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別的禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、教育、登用などあらゆる雇用条件および職場環境において差別しない体制づくりを行い、むしろ雇用機会が少ない年代を積極的に雇用し、学ぶ機会を与えている。						4.3 4.4 4.5		5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		事故防止のため、事務所の動線を適切に管理すると共に、事務所外の業務においても事故防止、安全管理を徹底している。																	3					8.8		
	14	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		全従業員に、公正平等な待遇を行っている。																							8.5 10.2 10.3	
	15	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		労働時間は従業員と相談の上決定し、ワークライフバランスが保てるように情報共有をしながら業務遂行できるようにしている。																							8.5 8.8 10.3	
	16	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部研修の受講や、各種資格の取得を奨励しており、研修の受講料や受験料等の必要経費の補助や、資格手当を支給している。																							8 9	
	17	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		定期健康診断を行っている。また、健康増進への維持向上のためウォーキングなどの運動を奨励している。																							3 8	17
	18	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		社内には60歳以上の高齢者、女性が在籍しているが、十分に活躍できる環境である。今後その他の多様な人材を雇用した際にも対応可能である。																							8.5 10.2 10.3 16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		従業員に時差出勤を導入している。																								3 8 9.1 11 12
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		不動産専用アプリを登録して、移動時間、燃料の削減、業務の効率化を行っている。																								8 9.1 11 12
	21	【プライト企業】 プライト企業に認定されている。	●																										

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ノエル不動産

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有機水銀やアスベストなどの有害物の説明を必要に応じて顧客に行っている。 事務所内の有害化学物質を把握し、適切に処理している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		月々の電気使用量、ガソリン使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 事務所の照明は全てLEDを使用している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		エネルギー使用量換算シートを用いてCO2排出量を算出、把握し、CO2排出の抑制に努めている。また、夏は室温28℃、冬は20℃になるようエアコンを調整している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		建物解体などにおいて発生する廃棄物は適正に処理し、環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		業務に於いて、建築リサイクル法についての説明を物件に応じて行っている。 ごみ分別を徹底し、裏紙利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水や、汚水等の適切な処理等を実施している。また、売買契約時に地下水保全条例について説明している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		契約等の書類において、可能な限り両面コピーを用いている。また、再生紙利用の促進も行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		来客用にペットボトルのお茶を準備し、残されても、お持ち帰りいただいている。	1	2					6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所内に複数の観葉植物を配置し、緑の空間を作っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			従業員にマイボトルを支給し、社内外での利用を推奨している。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			従業員が事務所近郊に住んでいるため、徒歩や自転車を交通手段にしている。								9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

